

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお阿倍野区店		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の特性に寄り添った専門的な支援を行っています。	お子様の興味・関心に共感し、個々のペースに合わせた支援を行うことで、安心感を持って楽しく通える環境を構築しています。困りごとへの助言等もご要望に添えるよう引き続き行っています。	職員の専門性向上を継続し、お子様の自己肯定感をさらに高める療育を提供するとともに、成功体験を積み重ねられるよう支援プログラムを構築させます。
2	迅速かつ丁寧な情報共有と相談体制を整えています。	写真付きの活動報告やLINE・SNS等を活用し、日々の様子を可視化しています。緊急時の迅速な連絡や、随時オープンな相談窓口も安心感に繋がっています。	引き続き「目に見える療育」を意識した情報発信を継続します。また、保護者様がより気軽に悩みや不安を相談できるよう、面談機会の充実を図ります。
3	安全管理と清潔な環境の維持	職員による毎日の環境整備により、清潔で心地よく過ごせる空間を維持しています。また、危険予測に基づき、必要に応じて常に環境改善を行っています。	避難訓練等の実施内容をより具体的に保護者様へ共有し、非常時における安全確保の取り組みについてさらなる信頼と安心を得られるよう努めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	物理的なスペースの制約	利用人数が多い日や療育内容、お子様の年齢層によっては、活動スペースが手狭に感じられる場面があることが課題です。	家具の配置見直しやパーティションによる空間のゾーニングを工夫し、限られたスペースを最大限有効に活用してお子様伸び伸び活動できる環境を整えます。
2	事務の正確性と人員確保	児童名の間違いなどの事務的配慮の不足や、療育内容によっては職員配置に余裕がないと感じる場面があります。	重要情報の取り扱いにおけるダブルチェックを徹底し、信頼回復に努めます。また、継続的な求人活動により、質の高い療育を支える人員体制を強化します。
3			